



### QI ニュースの発行にあたって

坂総合病院 QI 委員会委員長 富山陽介

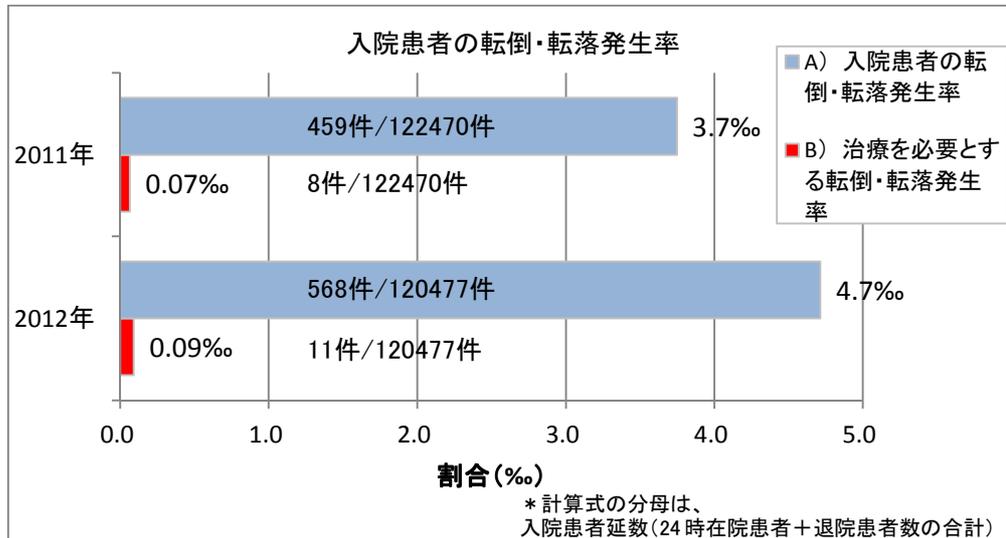
QI とは「医療の質の指標」の英語表現「Quality Indicator」の頭文字です。治療成績や看護技術といった枠を越えて「医療活動のよさ」を客観的に表わそうとする概念です。客観的とは数値で表すということになります。世界的に関心を持たれている領域です。

数字やグラフというものはとっつきが悪いものです。なぜそのような値を調べるのか腑に落ちない指標も多々あるかもしれません。私達も手探りで活動していますが、数字だけでなく分かりやすい説明も重要と考えています。

いずれにせよ私達 QI 委員会メンバーは、当院はよい病院なのか、どうすればもっとよい病院になれるのかについて興味を持っています。優れた技能の医師がいなくてよい病院とは言えないかもしれません。しかし技能の優れた人達がいるだけで自動的に病院がよくなるわけでもないでしょう。どういう時に病院が前よりよくなったと言うのでしょうか。病院の質を高めるために具体的にどんな行動が必要なのか、は私達 QI 委員会の大切な問題意識です。

これまで収集した指標をこの6月に当院ホームページ\*に掲載しました。今回は職員の方々に QI に興味を持っていただければと願いこの QI ニュースを発行することにしました。QI 委員会はまだ始動したばかりです。ご意見やご感想をお寄せいただくことを心待ちにしております。\*URL:<http://www.m-kousei.com/saka/52qi/>

### 指標紹介「A 入院患者の転倒・転落発生率」「B 治療を必要とする転倒・転落発生率」 (「‰」という記号はパーミルと読みます。日本語では千分率、千分の一を単位とした数です)



#### 〈千葉佳子医療安全管理者からのコメント〉

転倒転落は、高齢者が最も多く経験する事故の一つです。患者への影響は大きく、骨折などが発生した場合、高齢患者の QOL を低下させる大きな要因となります。民医連 73 病院の転倒発生率 A) 治療を必要とする転倒率 B) は、2011 年報告数(中央値) A) 4.33% B) 0.22 2012 年報告数(中央値) A) 4.42% B) 0.26% であり、比較すると当院の転倒発生率は平均前後ですが、それに比べ、治療の必要な転倒事故発生数は少ない事がわかります。しかし、当院において、レベルⅢb以上の事故報告の約 4~5 割を転倒事故が占めているのも現実です。今後も転倒しても骨折など大きな外傷につながらない取り組みの継続は必須であると考えます。

### シリーズ“統計のはなし”No.1

パーセントや平均値、棒グラフや円グラフ...数値で表現されたデータはぱっと見て分かりやすいですね。

その反面、その数値の意味を聞かれると「はてなんのことだろう?」と実はあやふやなことってありませんか?

意味を調べようにも、数式を見せられたとたん拒否反応が...なんて人も少なくないと思います。

19世紀の米国の作家マーク・トウェインは英国首相の発言としてこんな言葉を紹介しています。

嘘には3つの種類がある。嘘、大嘘、統計。

悪意のある嘘をつく人も世にはいるでしょうが、数値の意味がわからず間違った発信をしてしまったり、分からないままに思い込みの解釈をしてしまって「統計が嘘」のように捉えられてしまっていることがあります。

使い方・受け止め方次第でよりよい道具となるのが統計です。

このコラムでは、毎回少しずつ、数値の読み取り方や、分かりやすいグラフの作り方を紹介していきます。

医療情報企画センター SE 佐藤洋之



よろしく  
お願いします

QI 委員会のロゴマークです。考案者は、物流管理担当の門間秀人さんです。皆さんに QI を身近に感じてもらえるよう、QI 委員会のシンボルとして活躍してくれそうです。

### 次号(7月発行予定)のご案内

今回の指標紹介は褥創発生率、シリーズ“統計のはなし”No.2 を予定しています。

QI や QI 委員会、ニュースなどに関するご質問・ご意見・ご要望は、QI 委員会事務局(医療情報企画センター)までお寄せ下さい。